

翔

第13号 (平成9年11月1日)



山原昌娃きもの着付学院

テーマ「祭」

第九回 初春創作帯結び

装いコンテスト



創作帯結び出場の皆さん



装いコンテスト出場の皆さん

〔27〕 能登 1997年(平成9年)1月20日(月曜日)

北 陸

華やか「帯の芸術」

七尾で創作帯結び装いコンテスト

門下生220人 独創性を「開花」

山原昌娃きもの着付学院(本校・七尾市)主催の「第九回初春創作帯結び装いコンテスト」は十九日、同市和倉温泉の旅館・加賀屋で開かれ、門下生たちの考案した独創的で華やかな装いが、訪れた人たちに春の雰囲気を感じさせた。

山原さん(中)は、中日文化センター講師を務めており、コンテストには、県内各地や水見市などから門下生ら約二百二十人が集まった。装いをテーマにした「帯結びコンテスト」には、各生徒二十五人が、一人づつま



あでやかな春の空気を感じさせた創作帯結び装いコンテスト＝七尾市和倉温泉の加賀屋で

平成九年一月一九日
加賀屋・飛鳥大ホール

- 装いコンテスト出場者**
- ◎谷内喜美子 山本喜美子
 - ◎竹中 睦美 清水ひとみ
 - ◎今田 由美 ◎中原加奈子
 - ◎田畑三恵子 西野 雅美
 - ◎小坂 幸代 畑 正美
 - ◎浜崎 節子 中田 芳子
 - ◎林下 浩美 裏 小百合
 - ◎大根 禮子 東 きよえ
 - ◎加門三千代 斉藤 和美
 - ◎清水 三晴 中村 涼子
 - ◎改田 信子 松田 恵子
 - ◎宮本 正代 田村 有里
 - ◎中島佐智子 大谷智奈美
 - ◎西川美代乃 北脇 啓子
 - ◎花木 尚子 浜本 洋子
 - ◎布尾 真弓 前山 良美
 - ◎早川あけみ 村田美知子
 - ◎中出 満代 (◎印は入賞者)

て◎カクテル「宴」▽翔ア賞 カトレア「華燭」、賞 結舞会「鶴」▽アイデア 藤樹会「鶴」



魅力ある街づくり



七尾商工会議所

専務理事 中村 康夫

山原先生との出会いで三度、初春創作帯結び装いコンテストに出席させていただき、皆様のご活躍に敬意を表します。

また、小丸山さくらまつり、国際テント村のイベントに積極的なご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

今、商工会議所は行政と共に二十一世紀に向け、魅力ある街づくりに取り組んでおります。

これからの社会は、国際化社会、高度情報化社会、高齢化・少子化社会になることは、皆様も毎日の生活で実感していることだと思います。歴史的な大競争の時代にあつて、政治・経済・社会等あらゆる分野でスピーディーな構造改革が求められている今日、各地域も生き残りのための変革に迫られております。全国の多くの地域は今、中心部の空洞化が問題になり、中でも中心部における定住人口の減少・空き店舗の増加等に見られる中心商店街の衰退であります。商店街は地域経済の担い手であるばかりでなく、伝統・文

化・防災・防犯等々広範な分野における重要な役割を果たしており、また、「生活の場」として地域住民から親しまれております。これが衰退・崩壊するようなことがあれば、コミュニティとしての潤いが失われるのみならず、地域経済の発展の基盤も揺るがしかねないのであります。

商店街、特に「街の街」とも称される中心商店街は地域の活力と個性を表わすとともに、多くの人々が交流する公共空間として存在し、その盛衰は単に地域商業のみならず、地域全体に係わる問題であり、こうした意味から街づくりの中核的位置を占めております。全国のおよそ半分の商店街が停滞・衰退感を抱えているこの時期に、また、あらゆる分野で変革が迫られているこの時期に、中心商店街を柱とした街づくりを進めることは喫緊の課題であります。

我が七尾市を見ても、モータリゼーションの進展や消費者ニーズの多様化・個性化等により、郊外に大型店が進出し、コンビニエンス・ストアが次から次と

オープンしております。消費者には誠に便利で都合の良いことでありますが、その結果として、中心商店街には空き店舗が目立つようになりました。お客が郊外に流れ、市街地を行き交う人も少なくなり、寂しい現状であります。

このままでは七尾が衰退していくと憂えた若い人達が十年前から街の活性化に取り組みました。アメリカ・モントレレー市との交流を通して、国際テント村の開催、その結果としての七尾フィッシュヤーマンズ・ワーフ能登食祭市場のオープンであり、駅前パトリアのオープン、美術館の完成等、多くの事業を官民一体となつて押し進めてきました。今後は食祭市場横の七千坪を緑地公園としての整備、駅前パトリアから食祭市場までの約七〇〇メートルをシンボルロードとして整備することであります。

御祓川をきれいにし、シンボルロードを着物姿で散策する皆様を描きながら、一日も早い完成を目指したいと思ひます。

幸い我が街には、海（七尾湾）、山（城山）、川（御祓川）があり、生活環境としては最適な条件に恵まれております。

皆様と一緒に魅力ある街づくりに頑張っていきたいと思つております。



アイデア賞「華燭」カトレア

「華燭」カトレア

「華燭の典」華やかなともしび、美称。テーマである祭りからは、よろこび、楽しさ、晴れやかさが想像されます。これらを全て帯結びに表現してみました。今までの伝統的な和装スタイルから枠を広げ、日本文化と西洋文化をとり入れたスタイルにしてみました。そして誰もが手軽に、簡単に結べるという事を念頭におき、何度も結びはばどき、又華燭という言葉を意識して華やかさを出す為に、小物づかいにも気を配り付けては外しの繰り返しで完成させました。

これからの皆の心が一つにまとまる帯結びコンテストに参加し続けていきたいと思ひます。

「花一輪」ラ・ラ・ラ

初めての出品作でした。一本の帯でもまんならないのに、二本使つてとのみんなの意見で、挑戦してみました。一度として同じ形に



「花一輪」ラ・ラ・ラ



「獅子舞」桐生

ならず、当日前夜まで試行錯誤の末、なんとかそれらしき形に仕上げました。

当日、諸先生方の、堂々たる演技、作品を目の前にして、これまで何回も出品しているとあつて、「さすが場なれしているなあ!」と、感心し、大勢の人の中で、心踊る思いで見守りました。残念ながら、結果は参加賞でした。素晴らしい帯結びを見せて頂き、大変参考になりました。これからも挑戦していきたいと思ひます。

「獅子舞」 桐生

昨年講師に昇格した二十代？十代の中広い五人グループです。祭りのテーマから連想すると、飛びだすのが獅子舞。立った耳、たてがみ、これらをどう表現しようか四苦八苦。折ヒダに箱ヒダ、すみれヒダ、文庫結びにどれをどう生かしたら効果があるか創作に取り組んだ。太鼓に三本の折りヒダを取り、手先の端をゴムで止め耳に使い、たてがみは飾りひもを使う事になったが、練習のたびに違うイメージになって完成しないまま本番の日を迎えた。当日は、それなりに作り上げ、遠くから見たいいかもね！、と一人のなぐさめの言葉でみんなニツコリ顔で写真におさまった。

コンテストで見た他のグループの連想のすばらしさに感動し、今日の参加をステップにして更に努力していきたい。



「夢」 そよ風

「夢」 そよ風

氷見では毎年四月に雨ごいを祈願する「ごんごん祭り」と昔遊女たちが一年に一度だけ「まるまげ」を結ってもらい幸せな結婚を願ったという「まるまげ祭り」が時を同じくして盛大に行われます。

幼い頃、父母に手をひかれて行った祭りの露店を思い出します。春のそよ風にふかれ勢いよく回る露店の風車、この風車をイメージして、本来は赤色で四枚の羽根なのですが着物と帯の色のバランスを考慮して結んでみました。勢いよく回っているように見えるでしょうか。



「心」 プリンセス

「心」 プリンセス

創作帯結びなど思ってもいなかった事が、先生やグループの方の知恵（ほとんど）のおかげで無事発表する事ができました。

今まで忘れてしまっていたドキ

ドキ感が久々に思い出されます。晴れがましい場に出場でき、大変良い経験ができたと思つて感謝しております。



「粋」 舞姫

「粋」 舞姫

「祭り」というテーマから、私たちはキュツと締めた「粋」なねじりはちまきをイメージしました。そこで、帯をねじりはちまきのように、ねじって輪にしてみました。綺麗な輪になるようにねじり方をかえたり、ポリウムが出るように工夫したりして、何とか出来上がりました。

「アイデア賞をめぐそう。」と、皆で頑張りましたが、結果は残念。でも、とてもいい経験となりました。

「鶉」 絹舞会

素敵な賞を頂き、ありがとうございます。



翔 賞「鶉」 絹舞会

この帯結びは「リボンをいっぱい結びたいな。」と言う思いから出来ました。「一本の帯からリボンをいっぱい。どうすれば無駄なく使う事ができるのだろう。」と頭の中でいろいろイメージし、何日か後に、実際に結んで見る。すると、イメージしていたよりも良くて、それどころか帯枕もWひもも、小物一切使わなくても良かったのです。おまけに、モデルさんから「ひもが少ない分楽です。」と言う思いもよらなかった言葉も頂きました。

他チームの華やかな作品を見て、圧倒されながらも、又頑張つて見ようと思います。

「宴」 カクテル

私たちは、「祭り」から、各々の持ち味を合わせた「カクテル」で、「宴」を盛り上げる、そんな気持ちで創作に取り組みました。

華やかに飾りつけられた帯結び



三 位「宴」 カクテル

「華やぎ」 ウィンク

私達、ウインクチームは簡単に結べて、実用性のある創作帯結びに毎回取り組んできました。今年はステキなミセスに結んでほしい帯結びに挑戦しました。なかなか思いどおりにならず苦勞致しましたが、着物が一番合う年齢だと思ふモデルに合った、おしゃれな帯結びに出来上がりました。

これからのチームで、皆さ

も、見る者の目をひきつけて素晴らしいものですが、飾りをはぶいて、帯だけで仕上げたシンプルな帯結びもよいものではないでしょうか。

「シンプル・イズ・ザ・ベスト」を実感した作品に、出来上がったと思います。

皆で、意見を出し合い、協力してひとつの作品を、完成させることの喜びを、感ずることができました。

んに結んで頂けるような作品作りをつづけたと思います。



「華やぎ」 ウィンク

「想い出」なでしこ

幼い頃の祭りの想い出を帯結びで表現出来たらと思っていたのですが、しばらく着付から遠ざかっていたことや、練習時間もあまり取れなかったせいもあり、なかなか頭で描いているようには結べず、思うようにいきませんでした



「思いで」 なでしこ

が、ぎりぎりまで何とかこれならと思うものが出来ました。

でも当日の皆様の拝見し、確かな技術と固定観念にとらわれないその豊かな発想に本当に驚かされました。

やはり日頃の勉強と、それへの取り組み方が大切なのだとつくづく反省し、勉強させられたコンテストでした。



アイデア賞「響き」 藤鶴会

「響き」 藤鶴会

和太鼓は古代のメロディを奏でる楽器の一つで、お祭りには必ずかかせないものとして用いられますが、その時に聞こえてくる音は、地方によつていろいろリズムの違いがありますが、耳にするだけでお祭りということが誰でもわかり、また、ムードをより一層盛り上げてくれる重要な役目を果たしています。私はそんな和太鼓の響きを帯結びとして表わせたいものかと考えたのがこの作品です。

中央のまりは和太鼓を表わし、そこからのびる七本のひだは音の響きわたる様子を表現しています。今回は帯の柄、結びの感じからシンプルに仕上げたかったので飾りもさらびやかなものを控え、あえてちりめんで作った花をあしらってみました。創作にとりかかったのが遅かった為、準備期間が短く、創作することの難しさを感じ知らされました。大変勉強にもなり、さらにアイデア賞までいただきメンバー全員これからの励みになりました。本当にどうもありがとうございました。



「花円」 森の精

「花円」 杜の精

今年、帯結びコンテストに参加してみれば、と言われ初めての事で一瞬戸惑いましたが、何事も勉強だと思い仲間に加わりました。テーマは祭り、と言う事で全国お花のいろいろな祭りがあります。帯の中に花が点在している様

に、又全体的に一つの花にも見える様にと、積んだり崩したり、皆さんと知恵を絞りながら何とか仕上げる事が出来た時は、帯結びの楽しさも学びました。又、他チームの作品も参考になり（着物の色と帯の調和、小物の使い方等）大変良い勉強になりました。



優秀賞「縁日」 花園

「縁日」 花園

紺の着物に金の帯という配色、私達おばさんグループは幼き頃の縁日の屋台に並ぶ風車を帯で作ります。手鞠、白羽、白羽で綿菓子（飾り）を飾り「祭り」に対し「縁日」とする事にしました。

風車を作る所が一番苦勞しました。当日は着付が悪かった様で途中モデルの気分が悪くなり、初めての参加に最悪キケン！。心の中で神様仏様と祈っていました。何とかコンテストも無事終え、その上、信じられない優秀賞を頂き、教室の参加者全員、目が潤む程感



二位「さそわれて」 夢追人

「さそわれて」 夢追人

激！。胸がいつばいでした。まだまだ未熟なチームですが、これを励みに今迄以上の研究を重ねて頑張りたいと思います。

私はテーマ「祭り」から桜祭りをイメージし、凛とした気品の中に桜祭りにふさわしいミセスのオシャレな帯結びを工夫してみました。

思いきつて小さめの二重太鼓の一枚の間から羽根を出し、それを印象づけるため配色にだて粉を使いました。たれの部分も後見風に斜めにしてあそびさせてみました。いかがでしょうか？

唄いとモデルの演出が効を奏したのか結果は思いもかけない二位入賞。グループ一同、驚きと喜びで胸一杯になったひとときでした。ありがとうございました。

授与式と講演会

平成九年七月二十七日、七尾サンライフプラザに於いて山原昌娃きもの着付学院の「授与式・講演会」が行われました。指導員・講師・準師範と学院長より一人ひとり資格証が手渡された後、新講師による模範演技が披露されました。講演は千秋芳子先生による「モデリング・テクニクセミナー」と題して行われました。



千秋先生の講演を聞いて

高木美智枝

千秋芳子先生に初めてお会いしたのは今から約二年半位前、食祭市場ではなかったかと思えます。その時、やっぱり元モデルさんだけあってとてもきれいな姿勢の方だなあーと感心したのを覚えています。そんな素敵な先生の講演を今回聞けるのがとても楽しみでした。

「モデリング・テクニク・セミナー」何とも興味深い内容です。しかも、今回はメイクのモデルとして参加させて頂きとても感動しました。初めての体験で、自分がどう変わるのか少し不安でした。でも、先生から「大丈夫ですよ」と声をかけていただき、そんな不安も無くなりました。ふだん何気なくしている化粧でも、ほんのちよつと

だけでも工夫すれば今までの自分ではない別の自分に出会えるのです。そのためには、多くの化粧品なんて必要なく、限られたもので良いのです。それだけで変わるなんて素敵だと思いませんか？

メイクを習い、モデル風の歩き方も教えて頂き、努力次第では誰でもモデルのになれるのではないかと思います。常に気を付ける。いつも見られているという意識を忘れない。そういった事に日々気を付けていれば、千秋先生の様な女性で居られるのです。とても貴重な体験をありがとうございました。

「自分はきつと変わる」そう信じ鏡に向かう私でした。

授与式を終えて

実行委員 松田美恵子



去る七月二十七日、七尾サンライフプラザ「視聴覚室」において、一三〇名の参加者のもと授与式・講演会が開催されました。安易な気持ちで引き受けた実行委員でしたが、いざ準備となると何から始めていいのかわからず、先生方や昨年の実行委員の方々の助言のもとで何とか当日を迎える事が出来ました。しかし本番を迎えてからも打ち合せ不足や準備不足等で皆さんにご迷惑をおかけしてしまい反省ばかりが残ってしまいました。でも良い事もありました。それは新講師による模範演技が全員揃っていても堂々としてきれいだっただけ。もう一つは未熟な私達実行委員に皆さんのあたたかい協力があったこと。本当にありがとうございました。今振り返ってみると実行委員をした事は自分にとって良い経験だったと思います。この機会を与えて下さった先生に感謝し、より一層成長出来る様頑張ります。

iTEC

アイテック株式会社

〒929-14 石川県羽咋郡志雄町菅原464
TEL (0767) 29-4633
FAX (0767) 29-4772

代表取締役 和 泉 博

羽咋市公認工事店

さく泉・ポンプ工事・上下水道工事・
給排水衛生設備・建築板金工事一式

(有)嵐工業所

羽咋市新保町上239-1

(工場) TEL22-3172 FAX22-6483
(自宅) TEL22-1343

高級呉服・洋品・寝具
宝飾・結納品一式

(有)稲徳呉服店

羽咋市大町 TEL 26-0258
フリーダイヤル0120-27-0258

授与式に出席して

風俗写真家 間蔵 俊甫

この度、晴れて指導員資格、講師資格を授与された方々に心からお祝い申し上げます。それぞれ資格試験を受けるに当たっては、各先生から厳しい指導を受けられたものと思います。山原学院長さんは、教えることでは決して妥協を許さない先生ですから、各教室の先生方もその意を受けて、学院に相応しい受験授業であつたろうと推察します。その授業があつて資格を取得された皆さんは、これから、一步一步教える立場になつていくのです。習う立場では、自分だけの事を考え、覚えたいなら自分が一生懸命になればよいでしょうし、嫌ならそれこそ適当に習つて、気が進まなければ止めればそれで終るのです。しかし、教える立場となると話は違います。知らないから、分らないから、その人が嫌だから適当に教える、では通らないのです。

全国大会を迎えるに当たって

新春帯結びコンテストや授与式など学院が主催する催し物を、毎回新メンバーの実行委員会さんが、見事にこなしていることは大変素晴らしいと思います。大勢の人の受入れから会の進行まで、裏方の仕事を確実に果している皆さんを見てみると『山原学院伝統の技』みたいなものを感じるのであります。それも一人ひとりの自覚と責任感の成せる技であり安心して見てきました。

いよいよ来年は全国大会です。これまで様々な勉強をしてこられました、その勉強を生かして成果を出して欲しいものです。七尾に来られる方達は何を求めておられるのか：学院の、七尾の、能登の個性は、特徴は等々プランの詰に入る段階です。各地の大会の真似をすることは易しいのですが、斬新な企画は大変です。

これまで行つて来た事は必ず生かせると思いますので、自信を持って大会を迎えて下さい。皆さん方なら立派に出来るかと確信しております。

これからは今までと違った苦勞の世界に入りますが頑張つて



氷見教室授与式

明前久美子

梅雨明け後、蒸し暑い日が続き、蟬の声がいつそうかき立てる中、去る七月二八日、料理旅館『湖城』にて山原学院長をお迎えし、氷見教室の授与式を行いました。

最初に指導員及び講師資格の授与を行いました。

その後、今夜の最大イベント『真夏の夜の夢』をテーマに、六つのグループがサブテーマを決め、半巾帯を使いサブテーマにあつた帯結びを各自考案し、参加者全員が違う帯結びをしました。もう、創作・アレンジ・盗作等何もありという、みんなの努力の結晶がみられた、ステキな帯結びショーとなりました。

また新講師による模範演技は、氷見で唯一の能舞台で行われました。緊張とライトの暑さの中で新講師六名は、キラキラと輝いた汗を流しました。

授与式に参加して

北脇 啓子

七月二八日、資格授与式と親睦会に仲間達と半巾の帯結びを考えて出席しました。一本の帯で基本の結び方以外にいろいろ出来るものだと、帯結びの面白さを実感しました。初めてお会いする方も沢山いて、他の方達の様々な帯結びも、とても勉強になりました。現在、妊娠九ヶ月の私ですが、指導員試験を終えて、自分以外の人に着物を着せる喜びを、少しずつ味わっています。習い始めの頃は、いつまで続くかと心配していましたが、一年半を過ぎた今、少しは身に付いたような気がします。妊婦なので、先生や仲間達に随分迷惑をかけた事が、こまめに習わせていただいた事を、心より感謝しています。これから頑張っていきたいです。



◇各種プラント・計装工事
—信頼と技術—

三光電気工事

代表 中野 日出男

氷見市地蔵町7-43
TEL (0766) 74-0713
FAX (0766) 74-1550
自宅 72-5383

Cut SHOP

Roots

ルーツ

I ION 美しく生きてほしい
ION COSMETICS

・婚礼 承ります
・営業時間
AM8:30~PM6:30

氷見市鞍川167-2
☎ 74-2335

資格取得者(一覧)

準師範

瀬口良子



七尾市小丸山台二丁目六一
希望と緊張感が入り交じった授与式。ここまでこれたのも素晴らしい恩師との出会い。沢山の友達との触れ合いを重ねて今日、身に余る資格を授与させて頂きその重さを感じております。これからも資格に甘える事なく大好きな着物を通して日々精進して行きたいと願っています。

横山春枝



羽咋市粟生町シ五七
この度は準師範という、大きく重みのある資格を頂き、身の引き締まる思いです。これも一重に諸先生方や、周りの皆様のお陰と感謝しております。私の好きな言葉の一つに「心・技・体」がありますがこれらを共に磨くことが、これからの目標です。ありがとうございます。

中川カズ子



鹿島郡鹿西町金丸ヌれ一二
身に余る資格をいただき心引きしまる思いです。何事も初心に返りたいと思います。これまで大変お世話になりました学院で、よき仲間、家族に心からお礼を申し上げます。めまぐるしく変わる昨今、きものは私にとって「心のオアシス」でありたいです。

荒井美恵子



小松市符津町タ四七ノ一
準師範の資格を頂きました。重い重い木札も手にしました。本当に有難うございました。これも山原先生はじめ諸先生方の

御指導の賜でございます。まだまだ未熟者ですが、原点に立ち一層の努力をして参ります。今後共、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

北原峯子



鹿島郡島屋町字良川そ部二の二
この度は身に余る資格をいただきました。十年余り前、学院にお世話になった頃の先生方の一言一句を表情をも目のあたりに思い出して深くお礼を申し上げます。今後は技術はもとより、先ずは心身の修養に努めなければならないと、初心に返ることを誓っております。

八十田静子



鹿島郡鹿西町金丸ケ六ノ一
着付を習い始めて幾年月。過去を振り返れば、苦しみから、今は楽しみに変わりました。そして今ここに、立派な資格証を頂き家族共々喜んでおります。この証に恥じぬように頑張ります。山原先生及び諸先生方のご指導の程を急じてやみません。今後共よろしくお願いします。

芳永喜代子



羽咋市寺家町チ一〇五
山原学院長の御厚意で思いがけなく準師範の資格を得る事になり自分自身が戸惑っている次第です。まだまだ未熟な私ですが、一に勉強、二に勉強で、一生の友として、大切に付き合っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

宮島まり子



鹿島郡鹿西町金丸二一四九
学院長より準師範のお話があり、私と驚きました。免許状を頂いた時は木札がとても重く感じられました。着物に對す

るあらゆる物事をガンバッテ学んで行きたいと思っております。よろしく御指導下さい。

小倉敬子



羽咋市千里浜町イ一〇九
「継続は力なり」をモットーに着付を続けてまいりました。今日の日を迎える事が出来たのも、諸先生方のお陰様と感謝の気持ちでいっぱいです。今後は初心を忘れずに、尚一層の努力を重ねて行きたいと思っております。

新古嘉子



羽咋郡志賀町高浜町ケ八一一六
着付を習い多くの友達と知り合えました。途中で挫折せず準師範の資格を戴くことが出来たのも、山原学園長始め、石端先生や諸先生方のお陰と心から感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも皆様と一緒に楽しく初心を忘れず勉強を重ねて行きたいと思っております。

花野和代



羽咋郡志賀町字徳田クの一四の一
娘の成人式に自分の手で着物を着せてやりたいという願いで始めた着付、「着るほど」「着せるほど」に着物の奥深さを知り、怖くなる今頃です。今まで支えてくださった先生方、先輩、同期生、家族に感謝して、新たな気持ちで、一歩踏み出します。

梶田フミ



羽咋市寺家町りのの一
着物を美しく着てみたいという習い始めの頃から、回りの先生方に支えられ自分なりに地道に歩んできて、今回「準師範」の資格を得ることが出来ました。私にはもったいないと思うと同時に、感激の気持ちと今後いつその努力を続けていき、初心を忘れず着付を愛して行きたいと思っております。

総合建設業・JA経済連指定

若狭建設株式会社

TEL 72-3283
FAX 72-2354

全国に広がる家づくりのネットワーク
inos うれ家
イノスグループ

有限会社 住宅企画

〒925 石川県羽咋市千里浜町イ109番地
☎ 0767-22-8600

西 春 美



金沢市畝田中四丁目八三一九
娘の成人式には、自分の手で着付けが出来たらと思ってお習いして、その日が近づいてきております。学院長始め諸先生方の御指導と良き仲間のおかげと感謝致しております。着付けを習い、たくさんのお会いを頂き、私の心の財産となつております。今後ともよろしくお願い致します。

浅 井 美智子



河北郡津幡町井上の莊一の三六
思いがけず学院長からお話をいただき、未熟な私には嬉しい反面資格の重さにとまどいを感じております。忘れる事の方が多いのですが、資格に恥じない様「心・技・言葉・気働き」等少しでも身に付く様努力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

八 野 田 美智子



羽咋市大町マ五八
この度、未熟な私に準師範の資格を戴きましたことは、諸先生方のご指導、ご鞭撻そして、家族の温かい理解と支えがあったからだと感謝しております。有難うございました。これからも心を引き締め頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願致します。

講 師

高 地 富美枝



小松市矢崎町ナ二六の二番地
私は年頭に講師資格と思い、学院長諸先生方の御指導により皆さんと一緒に特訓を受け、挫折しないで頑張り無事合格。授与式にはすこく感激しました。長く続けて慣れるよう学習を重ねてきものを着る喜びを私の物にしたいです。

安 達 久理子



金沢市大桑町平一
着せてもらうのが当たり前。着物なんて興味なし。の私が皆が習うならと始めた。先生の御指導によりここまでくる事ができました。着る喜びを知り、今度は着せる喜びを味わえるよう頑張りたいと思います。

大 道 千 春



金沢市笠舞一の八の五九
私が着付けを習うきっかけになったのは「浴衣を着て花火を見に行きたい」という思いがあったからですが、その浴衣も一人で着れ、さらにどなたにも着付けをしてあげる事ができるようになりました。言うことなしです。

前 多 モツエ



鹿島郡鹿西町下後山への四
講師資格を頂戴し光栄に存じます。これも院長先生を始め諸先生方の御厚情の賜物と深く感謝致します。これからは自分自身を励まし、資格の「名」に恥じないように更に磨きをかけ、同志の方々と接する機会を多く持ちたいものです。

清 水 珠 代



金沢市塚崎町イ四〇一五
山原先生が結ぶ帯は、まるで魔法がかかったかのようにとても素敵に形を変えていきます。私も山原先生のように、もっともっと色々な帯結びができるようがんばりたいと思います。

角 田 恵



河北郡宇野気町チ一番地七
自分で着物が着たいと着付け教室に通い始めましたが今、講師の資格を頂き大変感激しております。今後は私自身素敵に着物が着れ、人にも喜んで着付けができるよう努力してゆきます。諸先生方、同期生に感謝致します。

致します。

棚 田 啓 子



鹿島郡鹿西町上後山マ四
自分で着物が着れたら、帯が結べたらと思いい、習い始めた着付け。自分で着れる様になり、娘にも着せられたらと思いい勉強し、先生方のお陰で講師の資格を得る事が出来ました。今後少しでも着付けに役立てればと思っております。

宿 谷 弘 子



鹿島郡島屋町良川レ部九
日本人の民族衣裳の着物を一人で着れないのは、実に情けないという思いから着付けを習い始め、お陰様で今では着る喜び、着せる喜びを実感し、更に講師資格証まで頂き感謝で一杯です。今後も一層頑張りたいと思います。

ト 部 和 子



鹿島郡田鶴浜町吉田ロ部一〇一三
男性の着付けを見て感動し、私もあの様に着付けが出来ればと思いい山原先生の門をくぐりました。諸先生方の熱心な御指導により、お陰様でここまで着ることができました。今後共、頑張っていきたいと思います。

水 野 芳 子



鹿島郡田鶴浜町三引二一四三
講師の資格を受けようと思いいてからは、体力のない私はいへんでしたが、今はうれしさと、これからは許される限り、着る事の少なくなつた着物を、いつまでも触れる喜びをかみしめながら、先輩や仲間達とともに、学習を重ねていきたいと思います。

広 幡 久 子



鹿島郡中島町西谷内チの九五
合格通知が来た時はほっとしました。資格証書を手にした時にやっと実感致しました。教室に入り先生方のこまかい御指導

ジロベエ

あなたの町の八百屋さん
ひまわりチェーン

本部:金沢市湊4丁目8番地 ☎(076)268-5511代

内灘店 ■年中無休

河北郡内灘町鶴ヶ丘3丁目1
TEL (076) 286-3701

木製建具 住宅サッシ エクステリア

糀田建具店

羽咋市寺家町リ-1-2
TEL・FAX (0767) 22-1560

池田呉服店

石川県鹿島郡鹿西町金丸
電話 (0767) 72-2376
☎ 0120-237672

のお陰と深く感謝致します。これからもなお一層勉強して行きたいと思っております。

吉原 早苗

金沢市北町一〇七



講師の試験になんとか合格する事が出来、諸先生方に感謝しております。途中で病氣もしましたがいやめなで勉強する事が出来、少しは身に着いたものがあると思います。これからは近親者に着せてあげられるようがんばります。

馬場 淳子

金沢市笠舞三丁目一五―三



「成人式に振りそでを自分で着たい」そう思ってた着付を習い始めました。山原先生をはじめ諸先生方のお陰で、その夢を実現でき、また講師の資格取得という夢まで叶えることができました。本当に有難うございました。

川島 ひとみ

金沢市金石西一―二三―二三



成人式をきっかけに着物を着る機会が増え、一人で着ることができたらなと思いついて始めました。一人で着る楽しさ、人に着せるおもしろさを学ぶにつれて奥の深さを感じます。これからも精進していききたいと思っております。

上坂 円香

金沢市長土塀二―一三―二四



大好きだった着物と小さな頃から接し、講師資格を頂け、より一層着物が好きになりました。目標は山原先生です。先生のおそばに少しでも近づけるよう、今後、ますます努力し続けたいと思います。

喜多 加奈子

河北郡七塚町木津二―四〇

自分で着物が着れるようになりたいと習い始めた着付が、人に着せる事や、講師の資格まで

頂けるとは思ってもみませんでした。これも、先生方や教室の皆さんのおかげです。これからも勉強し、頑張っていきたいと思います。

川那辺 桂子

河北郡七塚町字浜北一八番地三



着物を自分で着る事が出来ても、帯が結べなかつた私が、人に着せる事が出来る様になり、今だにとても信じられませんが、何をやるでも中途半端で終わらせてしまう私を、ここ迄ご指導下さいました先生方に深く感謝申し上げます。

山本 美紀

河北郡高松町字高松



軽い気持ちで習い始めた着付でしたが、緊張と不安の中で受けた試験、今講師資格を頂く事が出来、喜びと先生方への感謝の気持ちで一杯です。これからも努力し、継続していききたいと思っております。

橋本 一美

石川県河北郡高松町字高松



着物が好きで、自分で着物を着られるようになりたいと思いついて、習い始めた着付でしたが、先生方の熱心な御指導により、講師資格まで頂くことができた大変感謝しています。今後も着付の勉強を続けていききたいと思います。

中川 玉子

金沢市堅田町二八番地



自分で着物が着られ、着せられるように始めた着付。先生方の温かいご指導と、良き仲間に出合い、講師資格を取る事が出来ました。宝の持ちぐされにならぬよう、もっとと上手になれるよう努力し、頑張っていきたいと思っております。

坂 範子

金沢市旭町二丁目二番二二号



日常生活から遠くなった着物ですが、自分で着たいと願って入門しました。それが講師の資格を得るまでになりました。いい連れに恵まれたおかげです。でも実力はまだまだで、更に勉強しながら楽しんでいくつもりです。

徳坂 恵子

金沢市田島町ウ二一



平成九年七月二十七日、講師の本札を頂く事が出来た。家で娘に見せると「お母さん続けたら」と。夢中で私の年なりにガンバツタと思う。これからもずっと続けて行こうと思う。諸先生方宜しくお願い致します。

古谷 恵美

河北郡七塚町字秋浜二二五―四



講師の資格をいただきまして、今までの自分の立場とは違うという事を痛切に感じています。その名に恥じない様、もっと腕をみがき、知識を蓄えていかなければと思います。常に前進を心掛け、これからも頑張ります。

今井 幸子

金沢市神谷内町八二二―七



最初は友人が着付を習うというので私もやってみようかな、と軽い気持ちで始めました。それが続けていくうちに、やる所まで頑張ってみようと思いつきました。今後マイペースで頑張っていこうと思っております。

平野 有希子

鹿島郡鹿西町能登部下



不器用な私がここまでこれたのも先生方をはじめ、目標を一つとする同期の人達存在があったからこそだと思います。いろんなが一つのことに懸命に取り組む姿に、いろ

安全・親切をいつも心に...

(株)高浜タクシー

☎(0767) 32-0175(代)
志賀町字末吉相瀬4-2

住まいの相談は信用、実績のある(有)宮建へ

 有限会社 宮 建

〒924 石川県松任市八田町1065番地8
TEL.FAX.076-274-1029 携帯.030-298-1804

いと刺激され、励まされ、そして頑張る事ができました。

山辺 哲子

鹿島郡鹿西町能登部下

講師の資格を頂き、嬉しさと同時に、もう以前のように「わからん」「でんきん」と軽々しく言えなくなったことへの不安もありますが、今まで以上にがんばって自分のものにしていきたいと思っています。

姥浦 紀美子

七尾市府中町一六九番地

加齢につれて、着付も出来ないというのではと思い通い始めました。以前に職場で習った山原先生の教授法が印象に残っていたのです。いつも遅刻する私を嫌がらずに支えて下さった諸先生方、そして仲間感謝します。

日光 和美

鹿島郡鹿島町水白五十一

自分で着物を着て、また着せる事が出来ればいいなという気持ちで始めた着付。途中で挫折しそうになりましたが、先生の熱心な気持ちに頑張つて合格するぞという気になり、講師の資格を頂く事が出来て感謝しています。

竹ヶ端 富美江

鹿島郡鹿島町小竹キノ部三

「やつと此処迄来た。」というのが講師合格の報に接した時の実感でした。入門から今日に至る迄、思い起こせば感慨も一人です。やつと着付の入口に辿りついた私ですが今後共、御指導戴きます様宜しくお願い申し上げます。

山崎 あかね

河北郡高松町宇高松ム七一

やればやるほど学びたくなり、学べば学ぶほど楽しくなる、着物の着付とは、とても奥の深

いものだと思っています。まだまだ覚えたいこと、知りたいことがたくさんあるのでこれからも、楽しみながら勉強ができればと思います。

中江 友美

羽咋市松ヶ下町松ヶ下

初めは、ただ「自分で、着物が着る事が出来れば、着物をもつと気軽に着れる」と思い、着付を習い始めた私ですが、すっかり魅力に取り付けられ講師の資格まで取る事が出来ました。これも、先生方のお陰と感謝しています。

安居 敏子

富山県氷見市伊勢大町一五一一

講師の資格を得たことが大変うれしく思います。これから自信をもつて着付を色々な面で努力し、教室の皆さんと楽しみながら一層頑張りたいと思います。

川上 真弓

富山県氷見市諏訪野二一五七

着付を習うこと四年目にして、今回、試験を受け、無事資格を得ることができ、とてもうれしく思います。今後は、人に喜ばれる着付ができるように、一層努力して頑張っていきたいと思っています。

国納 春美

富山県氷見市上田五五一

浴衣を一人で着たい!。と思つて始めた着付

指導員資格取得者一覧

田畑三恵子	清水ひとみ	甲部美香子	谷内喜美子
畑 正美	池田千鶴子	福島ちか子	柏野 恵子
山本喜美子	鈴木 静子	亀野 佳恵	東 きよえ
吉岡小百合	八田久美子	吉本みちえ	高野 純子
松本真美子	本多 美和	雄谷 陽子	山本 民子
			西野 聡美
			西村 由美
			符谷 奈美
			濱崎 節子
			古瀬 留美
			山本 民子
			西野 聡美

教室。着付を習うたびに、難しさ、上手く出来た時の喜びを感じる事ができました。今、講師の資格を頂き、これからがスタートのつもりで頑張っていきたいと思っています。

谷 恵理

富山県氷見市鞍骨二二三七

自分で着物が着たいと思い習い始めましたが、この度、講師の資格を得ることが出来、大変嬉しく思います。これまで御指導下さった先生方や励ましあつた仲間感謝し、初心を忘れずこれからも頑張つて行きたいと思っています。

藤井 忍

富山県高岡市片原町一五三

講師の資格を得、温かく御指導頂いた先生方に感謝の気持ち一杯です。これからも技術の向上をはかり頑張りたいと思います。ありがとうございます。

安田 多鶴子

富山県氷見市宇波一七九七

講師の資格を頂き、大変嬉しく思います。これも、先生方の熱心な御指導のお陰と心より感謝しております。これからも、着付を通しての出会いを大切に、日々、努力し頑張っていきたいと思っています。

出会いを大切に、日々、努力し頑張っていきたいと思っています。

ご家族やグループでのお食事に、ご宴会・ご会合に…ワイワイガヤガヤ中華を囲んでの楽しいひととき…。パーティ・コンパ・誕生会などにもお気軽にご利用下さい。皆様のご来店を心よりお待ちしております。



4~5名様より
20名様までの
大小宴会ご予約
承ります

中国料理
良心亭
野々市町御経塚50街区6番
TEL(076)240-8117



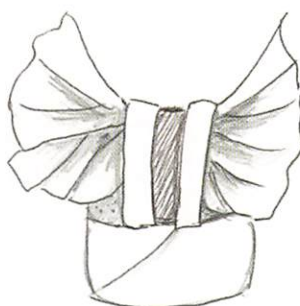
帯結び

学院長

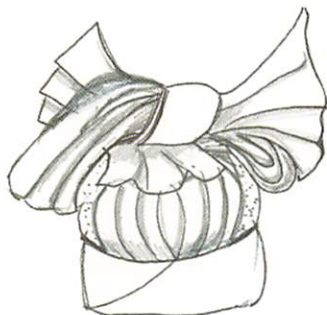
山原 昌娃

平成八年一月成人式用に考案しました。
各教室ですでに勉強をしましたが、図解と共に掲載します。

翔



幸せ結び



タレ先から三つ山ヒダを170cm
とり、クリップで数ヶ所とめて
おく。

1 手先55〜60を三つ山ヒダで姿枕。模様背中心で胴に二回まく。三つ山ヒダをきれいに保つたまま姿枕にかける。枕じめは下。 枕じめの上からヒダを下ろし右へ上げる。(V字にする)	2 タレ先より85cm残してW紐。羽根は右、左、右上へ。
3 手先はW紐と羽根の下、左へ輪にして差し込む。	4 三つ山のダーツ6本を整えて帯メをする。

手先は模様いっぱい姿枕をあてる。(逆箱ダーツ)
胴に二回まき枕にかける。枕じめは下。①の羽根を作りW紐。タレ先よりヒダ五本を作り、右をゴムでとめる。
左に大きめの羽根を作り、五本のヒダを上からW紐に差し込む。小タオルを当て手先おろす。

でかけました

●一月二五日

今年も成人式に出席の方々の着付直しボランティアをしました。

●三月一八日

中日文化センター七尾教室の皆さんで、門前町の能州紬を見学。猿山岬へまわり、咲きかけの雪割草を楽しみました。



●四月二三日

「能装束付けと演能」に出席。装束の着付けは、それぞれの着物の種類と付け方によって、人物の役割(位・性別・職業など)を表わす。

装束付けは、楽屋で付けるものであり、ふつう、見ることの出来ないものである。浅井能楽資料館五周年記念講座として行われた。今回は、宝生流で女性の装束を四通り、着流し・姥付け・脱掛け・壺折り。

演者は東京から来られた三川泉・小倉敏克・佐野由於先生。着流しの着付けで、まず目を引いたことは、右の下前を畳んで中(内側)へいれること。上

海草染め



手績織り



本社 石川県鳳至郡門前町千代
TEL (0768) 4 3-1 5 2 4 能州紬織元

前が多く合せられるから、仕上りからは見えない。下前は、白い着物の紐に上からはさみ込む。上前はぴったり引き、脇で後へたたむ。衿は両方共、裏を出し、のしめの形にする。紐は後から前、後で結ぶ。上身頃のゆるみは、紐に上からはさむ。姥付けは、三つに衿をまいてたたむ。衿をたたむことで、下の白の衿が多くみえる。下前の衿は、少しゆるませる。



脱掛けは片ぬぎをし、平常心でないときの心を表わす。(狂女など)。右の白いきもの袖は出すが、左は腰紐にはさむ。左上の衿はゆつたりと。

壺折りは、身分のある人、名のある役のときで緋大口袴を付ける。袴の一字結びは手巾位。きもの衿はつき合せ。腰帯をする。



面を付ける時は、面の髪の毛と、かつらの髪の毛の流れが一つになるように気をつける。たくさん約束ごとがあり、仕上がった姿は、ほっそりと優雅に、まるで人物が変わったかに見える。

●四月二〇日

「ミスと倉」の三人を選出する、審査選考が和倉観光会館で行われた。皆さん輝いている。挨拶の仕方や歩き方、話し方、表情等をチェック。



●五月三十一日・六月一四日

矢田新町婦人会の皆さんと、きもの着付のアラカルト、お茶の入れ方、お茶とお菓子のすすめ方、座布団や挨拶の仕方等、二日間にわたり楽しい時間をすごさせていただきました。

●六月一三日

「七尾講師の会」研究会に参加。志賀町の文化遺産を訪ねる。

●六月一七日・二四日

末坂町婦人会へ。また素敵な出会いをいただきました。

●七月六日

全国きもの指導者協会、講師資格試験の審査員として出席。元山理事長、樽沢、河崎先生、小川事務長さんと、来年五月、七尾での総会の打合せ。

コリンきもの学院長の大石先生にお願いして、故市田玲子先生のお宅へ。お仏壇に手を合せ、改めて感謝とお礼を。

●七月二三日

七尾市文化協会会議。「ザ・シースайдマンヨウ」実行委員会(市役所二〇一室)

●七月三〇日

七尾市文化協会、今年度第一回理事会。市民文化祭実行委員会(池田家)

●八月二四日

七尾市文化協会よりの先進地視察旅行に参加。高岡野外音楽劇「越中万葉夢幻譚」を見学。

●八月三〇日

北大谷公民館へ。皆さんと喪のきものについて考える。

●九月一九日

サンライフフェスティバルに、丸亀市の作品と共に「七尾講師の会」作品展示。藍染帯を出品。

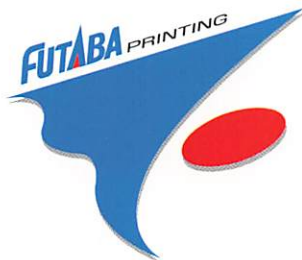
●一〇月七日

秋の研修会(京都)に出席。日本舞踊の引き抜きによる早変わり技を幾通りも実演。

踊り用の紋付着付は下着からで、細かな注意点も。七寸帯による後見結びの結び方。

●一〇月一九日

京都より演出家能見武正先生をお迎えし、総会、きものショーについての内容をつめる。



フタバ印刷(株)

七尾市飯川町き部35番地

TEL (0767) 57-3100 FAX (0767) 57-1547

七尾の祭ファンタジー

「猿神伝説」に参加して

岡下 政子



平成八年二月八日(日)七尾サ
ンライフプラザ文化ホールに於
いて市民創作劇「猿神伝説」に
二時間半の上演でありました
が、願わくもピンチヒッターと
して出場できたこと、本当に光
榮に思っております。スタッフ
以下総勢一八〇名の皆さんの、
熱い心意気が一丸となつての名
演技はすばらしいものでした。
私達山原昌娃きもの着付学院と
して約二七名が出場し、プロに
よる美術技術の舞台で神楽舞や
七尾市民による太鼓、民謡、日
本舞踊、尺八演奏、吟詠、着付、
吹奏楽等多彩な演劇から成り立
つており、私達は祭り部門の村
人や、旅芸人の踊り流しを演じ
ました。前日の一時間余りのリ
ハーサルだけでありましたが、
本番はどうなるかと不安でし
た。髪をあてお化粧し、衣装を
身につけた姿はまるで京都の太
秦にいるかのような錯覚にから
れました。私達吉田教室として
三名が参加し、皆さんのお化粧
も担当させていただきましたが、
皆さんにご満足いただけただ
かなと今思い直しております。
「猿神伝説」の脚本、演出され
た西村正悦様は神主の役もされ



た方ですが、すごく企画力に
富み、テキパキとした行動力
に感心させられました。この
日のためにどれだけの労力を
費やしたのだろうか、想像絶
するものがありました。
代々受け継がれている「で
か山」の昔話も猿神伝説から
由来していると初めて知りま
した。
中能登に住む私達は近隣の
町と相たずさえて、地域活性
化のために、何かお役に立て
ればと日頃心に願っております。
「猿神伝説」の出場者の皆
さん本当にご苦勞様でした。
いつまでも忘れない思い出
を作って下さつてありがとう
ございました。

一泊研修会に参加して

岡田ほなみ

前回の和倉一泊研修は「編
柄」がテーマでしたが、今回
は「美容師さんの帯結び」四
葉のクローバー」が中心でし
た。山原先生が大阪での研修
会で講習を受けて来られたば
かりの帯結びを、私たちにも
紹介してくださいました。

ある美容師さん達の団体で
は、毎年ひとつの創作帯結び
をとりあげて、講習会を実施
しているそうで、この帯結び
は昨年の講習課題だったもの
だそうです。たんだ帯を仮
留めするのには、美容師さん
が仕事で使っているような幅長
の専用クリップを用いること
や、留める位置がすべて細か
く決められていること、ダブ
ルひもを改良して考案された
フック式のひもを用いること
などが特徴的だったとのこと
でした。

「四葉のクローバー」は、
たんだ帯の重ね方とクリッ
プの留め方を工夫することに
より、四葉を作り出して、そ
れを立矢の羽根の中心にした
帯結びです。フック式のひも
で順番に押さえていくと、と
ても楽に結べるのですが、ダ
ブルひもや普通のひもです
と、なかなか難しいことがわ
かりました。この改良ベル
トの便利さに感心すると同時
に、道具の力を再認識させら
れました。



ゆかたを愉しむ

深浦 米子

「現代マナーと着物着付グループ」が北陸銀行で、八月に二週間ゆかたの展示をしました。テーマは「ゆかたを愉しむ」です。和紙をゆかたに見立てて、マネキンの胴に巻いて、赤・青・黄・緑の色あざやかな帯で、蝶結びや文庫結びをアレンジしました。遊び心が伝わってお洒落な夏を楽しめるようでした。立ち姿の男性には、学院のゆかたを着せて、貝の口結びや神田結びや男結びをしました。後ろ向きに立たせて、腕を付けて両手を広げると、男らしく見えました。ちよつとした工夫で、随分変わった雰囲気になる帯結びに感心させられます。

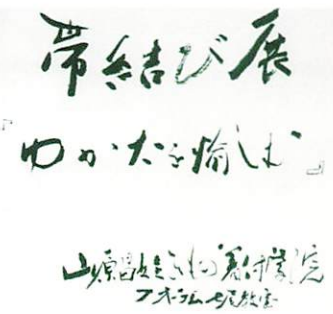
また、二本の帯を使って結んだ「しだれ花火」と名付けたものや、初めてでも簡単に結べる、若い女性向きの「リボン結び」などは、とてもテーマに合っていたように思いました。

ゆかたの帯結びと聞いて、簡単に出来るかと考えていましたが、いざ準備にかかると、うちに帯結び名を書いたり、すだれを使って、夏の清涼感を出したり、和紙と帯の組み合わせを考えたり、帯が下がないように気をつけたり、準備が終った頃には、全員が汗びっしょりで、予定していた時間を少しオーバーする程、夢中になっていました。

二週間の間に、帯結びがどうなっているか気になり、展示を見に行きましたが、すっかり結べていたので、ホッとして帰ったりしました。

最近、総踊りや夏祭りや花火大会など、若い女性にゆかたを着る機会がたくさんふえました。日本の伝統文化である着物の、第一歩として、ゆかたを自分で着て、町に出かけると、きつと楽しい夏が過ごせると思います。

夏は、きものを着たくないと思っていた私ですが、これからは基本を大切にして帯結びをもっと勉強してゆかたを楽しんで着こなしてみたいくなりました。



Ｈ九・三・一六
着付士最終授業風景



Ｈ九・九・二〇
新準師範勉強会より



Ｈ九・九・二八
健康フェスタいしかわより



健康フェスタいしかわ'97に参加して

嶋田 涼子

去る九月二八日、金沢社会保険健康センターで、健康フェスタが開催されました。四教室を担当している私たちも合同で参加しました。（参加者二七名）

前回二年前は、生憎の空模様で屋外ステージでは出来ませんでした。今回は前日のぐずついたお天気からカラリとした秋空に晴れ上がり、屋外ステージで帯結びを披露することが出来ました。

半巾帯、自分に付ける名古屋帯の手結び、相手に付ける袋帯の変わり結び、一人結びの蝶結びなどを三ステージ行いました。

何分お稽古日の違う生徒さん達なので合同リハーサルは当日しか出来ません。その上、午前一時からの出演で、準備も含めて朝早くから集合して頂きました。

しかしスタッフの心配をよそに皆さんステージの上では笑顔を見せる余裕もあり、呼吸もびったりで上々の出来映えでした。入講してから三ヶ月の生徒さんから一年以上の方までそれぞれの技術に合わせてのステージでしたが、秋晴れのもと、さわやかで楽しい、そしてチョッピリ緊張した時間を過ごす事ができました。

総会に向けて

来年五月一七日に全国きもの指導者協会の総会が七尾で開催されます。記念行事としてサンライフ文化ホールにて、きもの着付ショー「海と風のハーモニー」をさせていただきます。

五月にむけて、みんなが心一つにして何か出来ないものかと思いい、記念の帯作りを提案しました。生地は能州紬。一人ひとりの個性が光る世界にたった一本の私の帯を。今、目を輝かせて制作中です。

加賀友禪 三グループ
加賀本藍染 一グループ
日本刺繍 二グループ
押し花 一グループ
パッチワーク 三グループ
ステンシル 一グループ

他に字を書く人、絵を描く人、自分の持てる力を出して、又は長年の夢を託しての手仕事。

なんと楽しいひとときなのでしょう。雑事から解放されて集中することのとき……。でも大変なのです。うれしいときと、苦しいときが交錯します。

加賀友禪の一グループでは作家の柿本市郎先生に構図をみていただきました。金沢から七尾へ通って教えていただいた日本刺繍の中山きよみ先生。お蔭さまでもうすぐ仕上がります。

上島洋山先生をはじめ、素晴らしい先生方に出会うことが出来、ご指導いただきましたことに深く感謝申し上げます。

山原 昌娃

加賀友禪で帯を染める

渡邊美也子

友禪は、図案を考え青花で下絵を写し、糸目を引く。彩色をした上に糊で伏せ地染、蒸して水洗いをし、湯のしをして仕上げるわけですが、いくつかの工程は専門の方にやってもらう事になります。私たちは図案を携えて、柿本先生を訪ね、直接指導を受け先生ご自身のスケッチや作品等を拝見する事も出来ました。着物に合う図案

藍染めを体験して

市塚 桂子

藍染めグループは八月一七日、二四日、三一日に帯地を染める研修をしました。

高松町中沼の藍染職の石田先生に御指導を受けました。石田先生一家は、日常着に藍染め生地を用いておられました。

青色の濃淡に白の部分が混じった染め柄は、とても素敵でした。帯創作は藍染めに決めてよかったです。と思いました。

この手法は一二〇〇年前から、江戸時代に最盛期を迎えている。染料はアルカリであり、原料は北海道から七割、残りの三割は徳島などから取りよせているそうです。肌によさしく、雑菌が繁殖し

や地色を考えながら歩いていると、今迄気付かなかった道端の草花までも目にとまり、語りかけてくれるような気になりました。山原先生の「失敗も個性」との力強い言葉に力を得、自分だけのたった一本の帯を加賀友禪で染める！そんな機会を与えられた事に、そして一緒に作る仲間がいることを心から感謝したい気持ちでいっぱい。又、他のグループの方々の苦心の作品を拝見できるのを今から楽しみにしております。

ないので、着物・布団・おむつ等に良く、長持ちするそうです。欠点は色落ちがすることだとお聞きしました。

染め学習は一日目はスカーフで練習。二、三日目で染め上げ、その後、湯のしに出し仕上がります。

やり方は、ポイントの絵を選んで布に下絵を描きます。山原先生は、御自分でスケッチされたものを描かれていました。次に絵にろうをのせていくのですが、たいへんでした。高温の溶けたろうを筆でするのです。絵にもついていくまでに、ろうがたれたり落ちたりすることがないように、慎重にしました。この時は沈黙で真剣な目差でした。

次に染める前に水溶液に一五分ほどひたし、それから軽く絞ります。染料の層の中に入れて二分



間ほど布にしみこむように手で端から端まで握るようになっています、もち上げ染料のしるが切れるまで竿にかけておき、また同じことをくり返します。二〇分ほどしてから、すぎをきれいにし、酢酸に五分ひたし、しぼり、干します。



能州紬と加賀友禪

高橋 則子

真白な布地を手にした時、震えがきました。果たして自分のイメージ通り描けるのだろうか、失敗したらどうしようと思いつつ筆を取りました。案の定、細くしつかりと言われていたのに、余計な力が入り、アアやつぱりと、先生の顔を見たものでした。でも、染めの段階でうまくボカシてくれるとの事、ホッとしました。仕上がりにまで数ヶ月、幾つもの工程を経てゆかなくてはいいけない加賀友禪にふれる事が出来て、幸せだと思つています。宮岸染工房さんで教えて頂いていますが、手とり足とり本当に先生にはお世話になっています。まだ染めから上がってきていませんが、今からドキドキしています。



パッチワークを選んで

藤沢 久江

仕事の都合で七尾まで習いに行けない人、されど帯は作りたし、困っている時、旅先で立寄った民芸館の一角に「パッチワーク」の布が目にとび込む。昔なつかしい柄、縞等、思わずたくさん買いこむ。町内の指導者に依頼、早速取り組む。まずは基本からと、小さ

い布を縫い合わせるが、久し振りに針を持ち、肩凝りする。完成するか不安がる私達を先生は「焦らず時間をかけて。」と、やさしく説得して下さる。次に模様選び、アイデア、アドバイス、参考本等でそれぞれ決定。結局手のかからない物に落ちつく。初めて手がける帯、一生に一本しか出来ないかも知れない帯……。夢は膨らむ。五月の総会に向けて、楽しみながら頑張ろうと心を決めました。



やがらなるど発展を

宮田 一男

山原学院との出会いは、私には大きな欲びであり、誇りにする財産です。思いがけない海望の宴は、まことに有り難く大感激でした。なお、絞りの兵児帯は、こ有志のお心を伝えてやまない私の宝です。母を背負う床屋通いに、あれから三度も使いました。

加賀屋での新春コンテスト以来、続けてご招待いただきましたが、年々充実し、進歩が見られて楽しみでした。テレビ小説のあぐりのように、山原先生はいつも優しく笑顔で挑戦されるので、感動を覚えます。また、講師陣や指導員の活躍ぶりには、教えられるものが多かったと思います。自然も人も、みごとに輝いた

暮石ヶ峰の野外発表、ユニークなフォーラムのきものショー、熱心に取り組まれた教室での講習会、成人式の奉仕活動等々、今ほどれもが懐かしい思い出です。そして学院の活動は、まさに生涯学習の理想の姿であつたと評価しています。

平岩弓枝の「女らしさの知恵」の中に「目的にふさわしい装い」という章があります。目立つのは恥ずかしいが、目立たな過ぎるのはつまらないと悩む女心を一応は肯定し、他人の服装を悪口材料にするやからもいるから、人に言われたくないなら、無理で控え目にし、自分らしい個性を発揮したければそれでも良い。ただし、その場にふさわしい装いがあることを忘れないことだと述べています。

呉服の老舗に育った鈴木健二は「女らしき物語」に、日本女性のためだけにある、きもの美という視点で「きものに漂う郷愁」の章をまとめています。山原学院長とさも似た嘆きがあつて面白い。「空気を包みこむ、ゆつたりした着かたが少なくなつた。衿をきちきちに合わせている。昔は、帯は八ツ口から両手を入れて四本の指がすつと入り、軽く前後に動く程度をよしとしたのに」など。ちなみに一読をお奨めします。

愛と知性が輝く女性の魅力を身につけて、宇宙全体に優しさを満たすことが翔ぶということだと、秋山達子が定義しています。「翔」の第一三号を発刊される山原学院の、ますますのご発展と、サンブラでの全国きもの指導者協会総会のご成功を祈念してやみません。

ステンシルで帯作り

毛利三都子

上島洋山先生を迎え、現品も展示され、布地選びから帯作りの始まりです。手に取って見ますと、海藻染めと手織の技の布地らしく、しなやかさが伝わって来ます。あれこれ思索し、布地を決め染色を依頼します。刺繍絵画も駄目……。残ったのはステンシルでした。

図案選びには時間がかかりました。次に図案をカッターで切り抜く、次に型をセロハンテープで布に固定し絵皿に染料を出し、キッチンペーパー等に少し染料を落とし、筆でたたいて何回も染めあげて行きます。失敗は許されず、常に緊張しました。次に帯縫です。私達庶民には手の出ない程高価なあの能州紬で帯が出来上がりです。総会で身に着ける事の出来る幸を今感じています。



加賀友禅に挑戦

英 繁子

「加賀友禅」が出来上がるまでには多くの工程があり、それぞれ独立した職人の技で支えられていることを今回の作業を通じて初めて知りました。

そんなことをまるつきり素人の私たちがやろうというのだからとんでもなく無謀な話です。

幸い、知人に友禅の仕事をしている方が、何人かいらしたので、その方たちに助けられ、やつと「色刺し」までたどり着きました。色の作り方や、塗り方のコツなどを教えていただきましたが、これが加賀友禅の伝統の技なのだと、感動してしまいました。

ただ今、地色の染めをお願いしており、出来上がりを楽しみにしているところです。



能州紬のできるまで

上島 洋山

昭和四二年一月三日、当時私は京都西陣の機屋でした。其の日は能登出身の織物問屋の社長のお供で、マイカーにて京都より遠い能登半島門前町に参りました。道中能登海岸の素晴らしい夕日に出会いました。四五才になるまで京都の盆地で育っていた私は、海に沈む夕日の美しさ又、落日のあとの夕焼けの雄大でそして空、雲の輝いた大自然の色の移り変わりを目の前にし、感動の極に達しました。此のような処でじつくりと織物をつくれたらと願望を致し、それがきっかけとなり今日迄三〇有余年、能登門前町に居を建て自然の題材をテーマに能州紬と銘を打ち心を打込んで来ております。当時の門前町長さんの言「地場産業になるべく、企業の盛衰の有ると思うが、貴殿の持つておられる技術を、住民の婦人達に教えて頂き度い。」との心の後押しを受け、其の意義に感じ、自然に恵まれた海岸に面した場所に工房を建て、能州紬絲芸苑とブランド名付の発端となりました。何から手を着けたらよいか、五里霧中の毎日毎月、各家庭の婦人方と共に、手作りを業として参っております。

能州紬の特徴としてデザインは能登の景・海・山・太陽・月・星・松・草花等々に、私の好む古

代象形文字をとり入れたものを主体し着物愛好者のお宅様の箆笥に無いものねらいを作り続けています。

原料は総て絹糸及び、手紡真綿。糸染めは工房目の前の海草と又草木の色素で、塩分を取り除く為、数多くの水洗にて色艶を出す染め方にております。

織り技法は「手織」。機械を全く使わず、デザインを目で見ながら織り上げ、裏も表も同じよう、裏に余分な浮糸を出さずにすることを専念し、作品を仕上げております。

能州紬織元

絲芸苑 上島 洋山

「おめでとういっしょ」
上島洋山先生は、第一七回伝統文化ボーラ賞を受賞されました。



刺繍

高野なり子

私は刺繍が大好きです。でも、日本刺繍を手がけるのは、初めてです。糸作りから始まり、よりの掛け方、刺し方を、教材を使つて、教えて頂きました。

どうすればきれいにできるか。気持ち落ちつかせ、刺す事に集中しないと、良い作品が仕上がりにません。同じ図柄でも、刺す人によつて、個性があり、楽しみでした。いよいよ本番の帯に入る事に

押し花

ト部 和子
竹ヶ端富美江

私達が押し花を知ったのは、四月二九日の第一回目の打ち合わせ会の会場で、各自自分の帯地を選んだ後、お太鼓と前のポイント柄を自分で工夫してデザインする主旨で、七種類程項目が上がったのですが、どれも難しそうで迷っていた時、「押し花だったら貼るだけで良いから」と紹介されたのが切っ掛けでした。

五月四日に押し花を教えて下さる北原先生のお宅にお邪魔して、先生の作品を見せて頂きました。額一杯に散り敷いた押し花も、下地の色の配色や花の種類、又花びらのみを散らした物等によつて随分趣が違って見えてきました。た

なり、「よし！やるぞ。」と、気が合が入りました。図柄を帯地に写す事から始まり、一針一針刺して行く事に、楽しさも膨らんで来ました。思っていた以上に難しく、時間もかかりました。

いっしょに刺繍をされている方々の帯がすばらしくて、励まされました。そして、刺繍のとりこになりました。

この自分の刺した帯をつけて、来年の五月、サンライフの舞台に立つことを夢みて今からわくわくしています。

だ単純に貼るだけで良いなんて、甘い考えを持った事が恥ずかしく思えるほど素敵な作品ばかりでした。

九月七日には、実際に自分達で先生が持つていらつしやる押し花を、仮に作つたお太鼓の上に散らして見ました。出来上がりのイメージを作る為の物でした。適当に散らすだけの作業は、花を置く角度を少し変えるだけでもイメージが変わり、童心に返つて楽しませて戴きました。次に実際に押し花を貼り付ける練習をしました。帯には押し花を貼る前に、絵の具で自分でデザインした絵を下書きすると言う事で、絵の苦手な私達には負担ですが、初めて自分で作る帯なので頑張りたいと思います。



◆総会に参加して

中座 道子

今年は水戸での総会。どんな処かと楽しみました。水戸と言えは偕楽園と黄門様(単純?) 偕楽園は九代斉昭公が「衆と偕に楽しむ」という趣旨で開園されたとか。金沢の兼六園とは趣を異にした感じ。梅林の中を通り「好文亭」を見学。和風の三階からの眺めは、園外の風景をも取込んだ素晴らしいものでした。

茨城県民センター

では、総会に続き花染文化芸術学院の着物ショーが行われ、

●教室だより●

「美都の装い」ではめずらしい振袖の基本着付で、帯は前で結び、後に廻し仕上げ、とても奇麗な出来上がりでした。踊りの着付や舞踊も続く中、思いは来年の七尾地区での総会に飛んで、皆で頑張つて良いものになりたいという気持ちでいっぱいでした。



◆池田家のボランティア

七尾市の文化協会が管理されている池田家のお部屋を、日頃きもの着付の勉強会や会合に使わせてもらっています。

今年も八月三日にお庭の草むしりを左記の皆さんでさせていただきました。お忙しい中をありがとうございます。

久木満津美 森 千代子

織田しずる 瀬口 良子

石川 勝子 小沢 和代

上島佐洋子

◆能登島で舟釣り体験

谷内喜美子

八月二八日、山原、織田両先生と私達五人で島田さんのお世話になり、舟釣りを楽しんできました。初心者ばかりなので、仕掛けや餌付け等を島田さんのお母さんに手伝ってもらい、そのためか小さなシマダイ等が次々と釣れました。また山原先生は、チヌ、織田先生はカワハギを釣り上げられました。その後、能登島の民宿に泊まって、翌朝も釣りを楽しみ、帰路につきました。両先生、楽しい時間をどうもありがとうございました。



◆市民総おどりに参加して

瀬口 良子

梅雨明けの夏の夜空の下、参加五一団体、私達四名も学院の心意気を見せた。私も着付のお手伝いをさせて頂き、心地よい汗をかきながら御蔵川河畔へと向かいました。ちようちんの灯が川面に染まり踊り流しには、情緒溢れるばかりであった。いつもなら華やかな学院行事だが、今日ばかりは、斉にそろいの着流しスタイル。どんなふうに着飾っても三千人の中の一人。花火を合図に、身振り手振りでスタート。皆んな一様に気分良く熱気に包まれ、男性の踊り手に負けじと大きな掛け声を上げて楽しみました。いずれば、この場面に二〇mのシンボルロードが出来る予定で、より盛大なその日まで毎年ここで又お逢いしましょう。参加して頂いた方々本当に有難う。

◆総おどり

ゆかた着付ボランティア

七月一九日の七尾市港まつり、市民総おどりの折、市民の皆さんのゆかたの着付をしました。今年も労働会館、商工会議所、パトリアの三ヶ所で大々さんの皆さんのボランティアをいただき着付しました。



平成九年市民総おどり参加者名

山原 昌娃	久木満津美	森 千代子	上島佐洋子
藤沢 久江	吉田 利子	三浦 一枝	河原佐代子
瀬口 良子	小沢 和代	山下 珠美	おきき三人
小林 美紀	宮島まり子	毛利三都子	垣地八重子
浅井美智子	小崎真由美	畑中 芳子	福田 公枝
高木美智枝	細川美奈子	石井美千子	石田 匡子
松田美恵子	中原加奈子	上田 暁子	今井 公子
亀野千香子	岡下 政子	浦川 幸子	島元 博子
小原 浜二	中村真理子	日下 梢	畑 美智子
杉本 藤子	吉川美也子	滝中きみ子	浜崎 節子
中村 晴子			以上四二名

◆書き損じはがきを

集めております!

今まで書き損じはがきが、余った年賀はがきを送って下さり、ありがとうございます。

カンボジアの子どもの命と手足を地雷から守るため、アジアの子どもの教育環境改善に役立てるためこれからも受付しております。よろしくお願いします。

※表紙の写真は「安房峠の紅葉」(梓川 中の湯付近)

府中町在住の写真家、島木茂氏が撮影されました作品を掲載させていただきました。ありがとうございます。

編集後記

山菜取りの帰り、私の背丈程に伸びて、沢山の花を付けた「あけぼの草」を見つけました。センブリ科のかわいい花です。ふつふつと喜びが体を包んでくれました。ここに機関誌「翔」第一三号をお届けできました事を礼申し上げます。(水上)

・編集委員

織田しずる 柏原登代美
水上 美枝 堀井 紀子
和泉 恵子 浦辺可代子

期 第二号 平成九年 一月一日発行
発行 全国きもの指導者協会認定校
山原昌娃きもの着付学院
〒926 七尾市藤崎町二六二
TEL (〇七六七) 五二一六二五
FAX (〇七六七) 五二一七五五
編集 編集委員会
責任者 山原昌娃
印刷 フタバ印刷株式会社
〒926 七尾市飯川町三二五番地
TEL (〇七六七) 五七三三〇〇

各種行事のおすし・お弁当は…

味の **やはた**

学校炊飯指定工場  株式会社 **八幡**

本 社：羽咋市東川原町免田38
TEL (0767) 22-0808(代)
金沢営業所：金沢市入江町2-32
TEL (076) 291-2712

繊維の総合メカニズムを造る

 **木村グループ**

〒929-16 石川県鹿島郡鹿西町能登部下 市外局番 (0767)

木村織物株式会社 新日本テックス株式会社
125甲部13番地 ☎72-3755(代) 59部15番地 ☎72-3272(代)

株式会社ゼットキムラ 株式会社センターキムラ
59部18番地 ☎72-3756 59部16番地 ☎72-2731



建築・設計・施工・不動産・注文住宅・分譲住宅

シティハウス産業株式会社

宅地建物取引業・石川県知事免許(4)第2226号



10年保証
信頼の交わり

〒926 石川県七尾市馬出町八部51-3
☎(0767) 53-2133 FAX (0767) 53-7910